

習志野演習場への陸自新火薬庫設置の白紙撤回を求める申し入れ書

内閣総理大臣 麻生太郎殿

防衛大臣 浜田靖一殿

11月27日、防衛省が習志野演習場内に貯蔵量21トンの火薬庫を新設するための予算を09年度概算要求に計上中であることが判明しました。現有規模1トンを一気に拡張する今回の火薬庫新設計画は、千葉県に暮らす私たち市民にとって生活の安全を大きく脅かすものであり、またその使用目的に対しても、地方自治体と周辺住民への説明責任が果たされていないことともに、納得し得ないものです。私たちはまずこの火薬庫新設計画を白紙撤回し、その上で周辺住民と自治体への説明責任を果たし、その合意を形成することを強く求めるものです。

防衛省北関東防衛局の説明によれば、今回の火薬庫新設は本年度全組織が発足した「中央即応集団」隷下の第一空挺団および特殊作戦群の「即応性」に対応するものとされています。しかし、同2部隊は国内有事、テロ攻撃、海外派遣の実動部隊と位置づけられ、その対応範囲は、12年から予定されている米軍との統合運用を考え合わせると憲法9条が禁じている集団的自衛権の行使に当たるものと判断せざるを得ません。この部隊については、県内外においても設置反対の世論が強く、主権者の認知と合意が得られているものとは考えられません。こうした部隊が使用する武器弾薬のために大規模な火薬庫を新設することは拙速に行われるべきではありません。

また、規模の拡大した火薬庫は事故時の危険性、テロの対象となる危険性ともに大きく増大させるものです。本年3月15日、アルバニアの首都ティラナ郊外の軍用火薬庫で爆発が起り、死者16名、負傷者300名を超える大惨事となりました。火薬庫新設が予定されている習志野演習場周辺は間近を幹線道路が通り、一般住宅も密集しています。さらに同演習場内には地对空ミサイルPAC-2、PAC-3も配備されています。ひとたびテロ攻撃、引火などによる爆発事故が発生すれば、90万人を超える関連3市住民の被害は想像を絶するものがあります。このように周辺住民の生活の安心安全を大きく脅かす危険性のある施設である以上、関連自治体と周辺住民に対して、新設の必要性、安全対策等についての説明責任を徹底して果たし、住民と自治体による合意を形成することが建設の前提となるべきです。しかしながら、政府・防衛省は去年のPAC-3配備の際と同様に、周辺住民への周知のための努力を全く行わず、関連自治体への説明も全く不十分であることがこの間の県議会、市議会での質問・答弁によって明らかとなっています。

12月2日、防衛省は米軍再編関連の福岡県築城基地拡張計画を「地元への合意形成ができなかった」ことを理由に白紙撤回しました。「防衛」に関する事案であっても、基本的人権の尊重と国民主権、なによりも平和主義を基本とする憲法を有する我が国においては、主権者をないがしろにした一方的な遂行が許されないことを防衛省自身が認めたこととなります。

- ・09年度概算要求への習志野演習場新火薬庫建設予算の計上を白紙撤回すること。
- ・地元住民と関連自治体を対象とした「説明会」を、住民の合意が形成されるまで繰り返し実施すること。
- ・米軍再編に安易に追従した現在の防衛大綱を、憲法の平和主義の視点から根本的に見直すこと。

以上、「平和的生存権」を有する主権者として強く求めます。

2008年12月14日

パトリオットミサイルはいらない！習志野基地行動実行委員会
イラク戦争に反対する市民と議員の会
止めよう戦争への道百万人署名運動千葉県連絡会
市民ネットワーク千葉県、市民ネットワーク・ふなばし
憲法を活かす会千葉県協議会、船橋憲法を生かす会
シビックアクション千葉
平和無防備条例をめざす市川の会